

# アクティにしお

## NEWS LETTER

ニュースレターVol.28 2021年8月  
発行：にしお市民活動センター  
〒445-0837 西尾市鶴ヶ崎町6番地2  
Tel 0563(56)3923 Fax 0563(53)0230

### ごあいさつ

暑中お見舞い申し上げます。今年も熱い夏がやってきました！

市内の大きなお祭りも昨年に続き中止となり、楽しみにしていた方は物足りない夏になりますね。

今しかできない自分だけの『何か』を見つけて、少しでも楽しく充実した夏を過ごしましょう♪順番にワクチン接種も進み、来年こそは夏を満喫できますように！

### SDGs Action達成に向けた取り組み

◆SDGsとは・・・持続可能な開発目標のことで頭文字を4文字とってエス・ディー・ジーズと読みます。  
**Sustainable** サステナブル (持続可能な)  
**Development** ディベロプメント (開発)  
**Goals** ゴールズ (目標)

◆どうしてつくられたのか？

水、食料、気候、エネルギーなどを地球規模で見ると、世界は1つにつながっていることがわかります。地球市民のわたしたちが様々な課題を解決し、より良い世界を実現するためには、目指すべき未来の姿やゴール(目標)が必要です。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



◆この目標に照らし、私たちの身近に起きている出来事を通して、一人ひとりができることを考えていきたいと思います。  
「愛知県のSDGs取組紹介サイト」より引用

## 食料支援活動

フードバンクにしお(有志の会)主催の食料支援活動が第3回2021年5月2日(日)・4回7月4日(日)に行われました。前日は、西尾市総合福祉センター2階調理室・4階第6集会室・技能習得室でそれぞれお野菜や衣料、食料、生活用品と担当に分かれて準備が行われました。



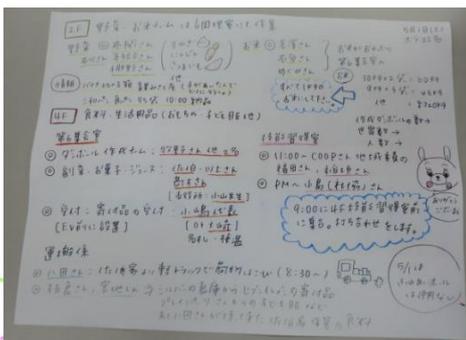
『食料支援の趣旨では、本来の目的として「西尾子ども食堂」が令和元年に設立し、子ども食堂で使用する食料をフードドライブにて、恒久的に提供できるようにと考えたのがはじまりでした。

令和2年12月子ども食堂に外国人を支援する団体より、新型コロナウイルスの影響を受け困窮している世帯が散見されるということで12月29日に第1回目に緊急食料支援を行いました。

これを機に日本人への支援はないのか、2回目はいつなのかなどの問い合わせをいただき、継続的な支援体制を整備する必要が急務であると感じ、有志の会ではありますが、2回目を実施する運びとなりました。

『今後も2~3ヶ月に一度のペースで実施を検討中です。』

フードバンクにしお準備会(有志の会)の趣意書より



この志に共感・賛同してくださった多くの個人・団体事業所の皆様から食糧の支援をいただきました。出来立ての食パンも届きました!

大きなバナナ、お菓子、米、パスタ、総菜、飲み物など沢山の食糧が箱いっぱいになりました。さらに多くの人々の支援の輪が広がりますように。

## 交流会開催

2021年7月10日(土)14:00～15:00 にしお市民活動センターアクティにしお 軽運動室に於いて『コロナに負けない！免疫力をあげる体操をしよう！』を開催しました。講師には、当館個人ボランティアに登録し活躍されている牧野 広行氏をお招きし、12名(牧野講師含む)とサポートコーナー担当スタッフ2名が参加。有意義な時間を過ごす事が出来ました。



耳は内臓と繋がっていて大事な部分だそうです。コロナ対策でマスク着用時間が長く痛い時は、耳を引っ張ったりマッサージすると良いそうです。また、おへそ廻りを指圧する事で腸内環境を整える事ができることなど教えていただきました。そして、免疫力を下げない予防として唾液を出すことが大切だそうです。耳下腺や顎下腺を押すと唾液が出ること、奥歯をしっかり使い食べ物と唾液をよく混ぜ合わせることが天城流では良いとされているなど、朝晩の体操も含めて、継続してやれそうなことばかり！

毎日実践し免疫力を上げていきたいと思います。



## 休眠預金制度って？

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に関する資金の活用に関する法律」(休眠預金等活用法)に基づき、2019年から始まった10年以上取引のない休眠預金を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度です。指定活用団体である一般財団法人日本公益活動連携機構(JANPIA)が公募・選定した「資金分配団体」が休眠預金に関わる資金を原資として、社会課題の解決につながる民間公益活動を行うNPOなどの団体(実行団体と言います)に対し資金助成や伴走型支援を行うものです。

さまざまな社会課題を解決するための民間活動に、休眠預金を財源とした資金を活用することが、休眠預金等活用法に定められています。社会課題としては、いわゆる社会的弱者の支援や地域の活性化など、優先的に解決すべき課題として次の3つを挙げています。

### ●子ども及び若者の支援に係る活動

- ・経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
- ・日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
- ・社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援

### ●日常生活または社会生活を営む上での困難を有する者の支援に関する活動

- ・働くことが困難な人への支援
- ・社会的孤立や差別の解消に向けた支援

### ●地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に関する活動

- ・地域の働く場づくりの支援や地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援
- ・安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援



これらの支援活動の多くは、主にNPOがさまざまな工夫を凝らして行っています。そうした民間公益活動を行うNPOなどの実行団体に助成する資金の原資として、休眠預金を活用しています。また、SDGsとの親和性も高く、「誰ひとり取り残さない持続可能な社会」作りに貢献します。

※参考 [休眠預金等の活用 | 休眠預金等活用とは | 一般財団法人日本民間公益活動連携機構 \(JANPIA\)](#)

## ごあんない

にしお市民活動センター アクティにしおでは、定期的に「車座集会」を開催しています。

「車座集会とは？」大規模なイベントや講座と違い、身近なテーマを少人数で行っています。

今回は「災害への備え」～無理なく備蓄～をコンセプトにローリングストックについて学びます。

◆開催日時 2021年9月25日(土) 13:30～15:00 (受付13:00～)

◆にしお市民活動センター(アクティにしお)3階 3B集会室

◆無料

◆12名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

◆講師 防災士 稲垣繁輝(サポートコーナー スタッフ)

◆申込方法 アクティにしおサポートコーナーまで、直接または電話、Fax、Emailにてお申込みください。

2021年8月17日(火)～9月17日(金) ※月曜日を除く9:00～17:00まで。

(団体名・氏名・参加人数・連絡先をお知らせください)

◆その他 当日は筆記用具をお持ちください。

◆受付/問合せ先 にしお市民活動センター(アクティにしお)サポートコーナー

〒445-0837 西尾市鶴ヶ崎町6番地2 Tel 0563(56)3923 Fax 0563(53)0230 mail saposen@katch.ne.jp